

広陵



第31号 2002. 7. 20

神奈川県立秦野高等学校同窓会会報

《思い出のシリーズ》 (その31)



平成13年10月に正門前に設置された信号機と右側に「祝関東大会出場〜」の横断幕が見える

同窓会会報第31号目次

表紙	題字	宮本 信義 (中5回)
	スケッチ	横溝 英一 (中20回)
総会のご案内		1
平成13年度事業報告・決算報告		2
平成14年度事業計画案・予算案		3
ごあいさつ	同窓会会長・柳川 一朗	4
	学 校 長・井上隆之	4
平成13年度総会報告		5
	伊勢原支部 瀬戸洋四郎 (高15回)	5
幹事会報告	榎本圭治 (高2回)	5
支部だより		6
秦中・秦高在職中の思い出		8
広畑が丘 空晴れて 秦中・秦高に想う		10
母校からこんにちは (部活動報告)		12
母校進学カルテ		14
広畑会・同期会だより		16
寄稿・昔の思い出	茅沼保次	17
母校職員異動・物故者・連絡等		18

平成14年度 秦野高校同窓会 ～ 総会のご案内 ～

- 日 時：8月17日(土)
- 場 所：平塚プレジール (農協共済ビル株式会社)
平塚市八重咲町3-8
TEL. 0463 (23) 2840 (直)

総会日程

P.M.1:30 受付

2:00 総会

- 平成13年度事業報告及び決算報告
- 平成14年度事業計画及び予算審議
- 役員改選
- その他

総会へのお誘い

同窓会会長

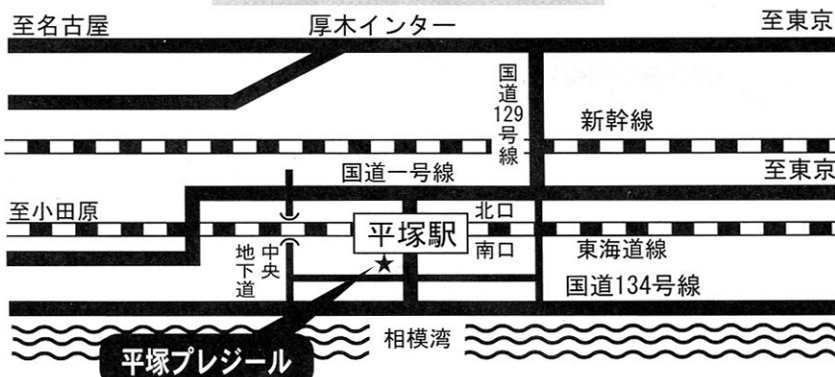
柳川一朗

平成14年度総会は平塚プレジールで平塚支部の皆様
に設営していただきました。
会員各位の多数のご参加を
願います。

* 総会終了後 懇親会
会費5,000円 (当日納入)



会場への案内図



平成13年度決算報告書

◎歳入の部

項目	13年度予算額	13年度決算額	増減
前期より繰越	2,231,854	2,231,854	0
終身会費	4,600,000	5,590,000	990,000
雑収入	30,000	223,801	193,801
合計	6,861,854	8,045,655	1,183,801

◎歳出の部

項目	13年度予算額	13年度決算額	増減
会議費	410,000	361,800	△48,200
総会費	250,000	250,000	0
役員会費	160,000	111,800	△48,200
事業費	4,220,000	4,229,270	9,270
支部育成費	240,000	240,000	0
在校生生活動振興費	700,000	700,000	0
吹奏楽部助成費	100,000	100,000	0
造園維持費	80,000	80,000	0
慶弔費	100,000	120,750	20,750
会報発行費	2,850,000	2,838,520	△11,480
資料整理費	150,000	150,000	0
事務費	380,000	130,312	△249,688
事務局費	300,000	114,244	△185,756
通信費	50,000	10,360	△39,640
印刷費	30,000	5,708	△24,292
定期預金	0	2,500,000	2,500,000
予備費	1,851,854	0	△1,851,854
繰越金	0	824,273	824,273
合計	6,861,854	8,045,655	1,183,801

同窓会基金 45,972,213

内 訳 ・ 同窓会会館積立金 17,000,000
 ・ 同窓会積立金 28,972,213

平成13年度の会計、経理について関係帳簿及び書類を審査した結果、正確且つ公正であったことを認めます。

平成14年6月3日

会計監査 佐草政勝
 “ 加藤武雄

平成13年度事業報告

- 役員会議 5月29日(火)
10月20日(土)
11月29日(水)
12月15日(土)
- 幹事会 6月16日(土)
- 総会
平成13年8月18日(土) 午後2時
伊勢原市 フォーラム246(アマダ)
- 会報「広陵」30号の発行 全会員配布
- 同窓会名簿の発行(5年毎改訂)
- 同窓会関係資料の整理・目録作成
- 支部育成と連携
- 在校生への活動支援(別紙)
- 部活動激励事業
県大会 柔道部、陸上部、
水泳部、男子ソフトテニス部、
弓道部、女子ソフトテニス部、
男子バスケット部
関東大会 水泳部、山岳部、
陸上部
全国大会 水泳部
- 吹奏楽部助成
- マラソン大会賞品贈呈

以上の通り報告します。

平成14年8月17日

会長 柳川一朗
 会計 畑野公保
 “ 榎本節子

平成14年度予算書(案)

平成14年度事業計画(案)

◎歳入の部

項目	14年度予算額	13年度予算額	増 減
前期より繰越	824,273	2,231,854	△1,407,581
終身会費	4,600,000	4,600,000	0
雑収入	30,000	30,000	0
合計	5,454,273	6,861,854	△1,407,581

◎歳出の部

項目	14年度予算額	13年度予算額	増 減
会議費	410,000	410,000	0
総会費	250,000	250,000	0
役員会費	160,000	160,000	0
事業費	4,070,000	4,220,000	△150,000
支部育成費	240,000	240,000	0
在校生活動振興費	700,000	700,000	0
吹奏楽部助成費	100,000	100,000	0
造園維持費	80,000	80,000	0
慶弔費	100,000	100,000	0
会報発行費	2,850,000	2,850,000	0
資料整理費	0	150,000	△150,000
事務費	380,000	380,000	0
事務局費	300,000	300,000	0
通信費	50,000	50,000	0
印刷費	30,000	30,000	0
予備費	594,273	1,851,854	△1,257,581
合計	5,454,273	6,861,854	△1,407,581

- 1 総会・幹事会・役員会の開催
- 2 会報「広陵」第31号の発行
- 3 支部育成と連携
- 4 同期会との連携
- 5 在校生活動の支援と交流
- 6 会費の納入促進
- 7 同窓会諸運営の検討
- 8 その他



県立秦野高校同窓会本部役員名簿

- 【会 長】 柳川一朗 (秦 野)
- 【副 会 長】 深田源次 (東 京) / 金子 尚 (茅 崎 郡) / 松永幸夫 (平 塚)
 喜多 実 (伊勢原) / 梅原福司 (秦 野) / 廣澤富正 (小田原)
 鈴木 正 (南足柄)
- 【支 部 長】 梅原福司 (秦 野) / 柳田敏雄 (小田原) / 賀川義光 (伊勢原)
 内堀昌治 (茅 崎 郡) / 野川義雄 (平 塚) / 深田源次 (東 京)
 梅本玄正 (南足柄)
- 【理 事】 大川 要 (伊勢原) / 榎本圭治 (秦 野) / 渋谷富治夫 (秦 野)
 畑野公保 (伊勢原) / 榎本節子 (秦 野)

第十三代同窓会会長に

就任して

同窓会会長

柳川 一朗



同窓会の皆々様、校庭のプ

ラタナスや弘法山の新緑に包まれたここ広畑ヶ丘は、躍動の季節となりました。昨年八月十八日、同窓会総会が伊勢原支部の当番で「フォーラム二四六」で盛大に行われました。今年は平塚支部の当番で「アレジール」で行われます。多数ご参加下さい。

昨年の総会において、囃らずも十三代同窓会長に就任させて頂き、校内外の諸行事に参加して参りました。小田原高校の百年祭、これから行わ

れる厚木高校の百年祭を思う時、母校の草創百十五年・創立七十六周年の秦高の立場を考えると、県央・県西部の進学優秀校としての一翼を担う責任を感じます。

在校生徒数二十八クラス、一、一六〇人と全日制普通科

では県下最大の規模で、質実剛健の校風と、文武両道の精神が脈々と引き継がれており誠に頼もしい限りです。我々同窓会の会員数も、旧制中学第一回生から高五十四回生まで二万名を越え、日本全国の各階層でご活躍されている事を考えますに、誠に心強い限りです。

先日秦野支部設立二十五周年行事が「秦野商工会議所」

で盛大に行われました。参加者功労者の中に、秦中一回生の原さん(九十一歳)は現在でも自動車運転を、秦中二回生の茅沼さん(九十歳)はゴルフにと頑張っておられる

着実な歩み

学校長

井上 隆之



秦野高校には、先輩たちが築かれた校風の「質実剛健」「文武両道」の精神がいまもしっかりと息づいています。校内では、明るい笑顔での挨拶が飛び交い、活動する生徒の活気がいつも満ちあふれております。

学校の制度、内容面でも本年度は、さらに充実されました。

姿に深い感銘を受けました。最後に、私も伝統ある同窓会の存続発展のため努力を惜しみません。皆々様のご支援をお願いし御挨拶と致します。

た。完全学校週五日制に伴う授業時間の確保のため、二期制を導入したり、同窓会をはじめ外部の方々から貴重な意見を頂戴する学校評議員制を始めました。また、開かれた学校づくりでは、学校参観地域交流会、高校大学連携、小学六年生たちへの部活動体験などもしっかりと校内で位置付けられました。

平成十三年度の進学実績は東大、東工大、東京芸大ほか国公立へ十六名。早大、慶大、上智大ほか私立へ二三名。

短大、専門学校へ四三名と合格の成果を上げて来ました。部活動でも平成十四年度はすでに、ソフトテニス部女子がインターハイへ、関東大会でもソフトテニス部女子、バスケットボール部男子、山岳部、陸上部が出場を決定しています。この他、県の上位に入る部活動が幾つもあり、今後が大変楽しみです。運動部が活躍する県立高校としてはトップレベルの高校となっております。

今回、同窓会のご援助により校門横に設置された横断幕は、各部の生徒達に力強い激励とPRになりました。この着実な歩みを持続すべく、今後も同窓会のご支援・ご協力をよりしくお願い致します。

同窓会のますますのご発展を心より祈念申し上げます。

平成13年度 総会報告

伊勢原支部

瀬戸洋四郎 (高15回)

お盆も過ぎ、風も少し爽やかに
なった平成13年8月18日
(土)の午後、阿夫利の山の
麓の地、伊勢原市でフオーラ
ム246を会場に55名の参加
のもと総会を開催いたしまし
た。

当日は来賓として、井上校



長先生を始め、恩師の杉山長
風先生をお迎えし、ご挨拶を
いただいた後、議長に伊勢原
支部長の賀川義光氏(高6
回)を選出し、新年度予算案
等諸議案を慎重審議し、全会
一致で決定されました。そ
後、この年の1月に逝去され
た小泉功会長の後任人事につ
いて緊急動議が出され、新会
長に会長代行の柳川一朗氏
(高1回)を全会一致で決定
し、会長就任の挨拶がありま
した。次回の幹事である平塚
支部の松永幸夫氏(中18回)
にご挨拶をいただき、総会を
無事閉じることが出来ました。
総会終了後、記念写真を素
人の小泉哲郎氏(高25回)が
撮影してくれました。

会場を「相模」に移し、楽
しみの懇親会とアトラクショ
ンの始まりです。開会の挨拶
は伊勢原市助役の長谷川美夫
氏(高9回)にしていただ
き、山本大氏の津軽三味線
が奏でる中、世代間を忘れ往
時を偲びながら談笑に弾みが
かかりました。陽も落ち、辺
りも静かになった頃、校歌合
唱を小澤光孝氏(高21回)、
志村功氏(高26回)、平田真
一氏(高28回)の音頭で高ら
かに唱い、懐かしいプラタナ
スの木、雨天体操場、階段教
室等々の思い出が頭を過ぎり、
なごり惜しみつつ再会を約束
し、帰路についた。

幹事会報告

榎本圭治 (高2回)

同窓会の幹事会は各卒業期
から複数の会員によって構成
され(現在87名)総会に諮る
内容を審議する機関です(規
約第10条の2)

毎年総会が開かれる前に一
回開催されますが、本年度は
平成13年6月16日(土)秦高
会議室で22名の出席で開かれ

ました。

議題と意見

1 総会提出議案の審議

(1)平成12年度実施事業と決
算について

算について

(2)平成13年度事業計画と予
算について

算について

・ 弔慰金については内規的な
取り決めがないので成文化
してほしい

・ 総会を学校で開催したら
総会の幹事は支部で持ち廻
りになっているが同期生を
中心としたものにするれば参
加者の年齢幅も広がるので
はないか

(3)同期会等への祝い金贈呈
について

同窓会の存在意識を高める
ことと、会員と同窓会を結び
つける一方策として同期会、
クラス会へ祝い金を贈ること
について提案

・ 実態を把握したらどうか
・ クラス会まで祝い金を出す

と予算面で苦しいのではな
いか

・ 具体的実施要綱を提示して
ほしい

・ 方向としては賛成

(4)ホームページ開設につい
て

P T Aでホームページ新設
のことについて話題になって
いるので同窓会としてはどう
かと学校側より提案

・ 同窓会としてそれだけのポ
リユームがあるか疑問

・ 予算面で問題があるのでは
ないか?

・ 誰が担当するのか?
・ 利用率はどうか?

・ 今後の問題ではないか

2 報告事項

(1)広陵30号発行

青木編集委員長より進捗状
況の説明

(2)同窓会資料室の整理
榎本総務より手順と資料
目録作成計画の説明

支部だより

東京支部

熊沢弘雄 (中19回)

今年も東京支部が結成されて十回目の総会、懇親会を迎えます。総会は会員の諸事情などを考え、二年に一度開いています。会長も須山喜一氏(中7回)、西山会長(中14回)を経て現在、深田源次氏(中21回)に会長を引き受け、貰い、法曹活動の多忙の中で時間を割いて頂き、ご苦労をおかけしています。

たり、そのあるべきための具体的な行動計画が話し合われたり、色めき立ってきました。

今年の総会・懇親会は秋には開催予定で、毎度、深田会長、二階堂副会長はじめ幹事諸兄の労を煩わし、準備が進められています。福沢諭吉の詩に「花を惜しむ」があるが、誰にとっても青春は懐かしい。青春の値打ちが分かる頃には既に白髪。広陵健児の健闘を

平塚支部

野川義雄 (中19回)

平成十四年二月九日、平塚支部役員会が開催された。議題一、役員の一部選出について、二、母校同窓会総会開催に伴う当番支部としての対応について、三、その他市内五地区の役員、顧問、相談役二十余名が出席。長年にわたり秦野高校同窓会平塚支部

本部への深甚なる情熱を注いでいただいた支部長、加藤金次氏(中19回)会計 坪井正氏(中19回)の交代が惜しまれながらも認められ、後任に支部長 野川義雄(中19回)副支部長 和田正毅氏(高3回)書記 関恒久(高19回)会計 静裕司(高19回)が選任され「母校同窓会組織の主体は支部地区活動の活発化から」を目標にバトンの引き継ぎが承認された。さきに関先輩たちが作成した地区役員組織と規約の運用を八月十七日に平塚地区で開催される同窓会総会の対応策として実践している。五月までに三回の会議を重ね、総会の交流が同窓会に光を注げるよう、秦野高校時代の仲間となって地区役員総勢で準備をすすめている。

伊勢原支部

堀井元祥 (高7回)

支部だよりという事で、何か書いてほしいと依頼がありまして、支部の事など何もわからない私で申し訳ございません。役員皆様お忙しい中で頑張つて居られる事、感謝する次第です。私は戦後の混乱の中、三〇年卒業という事で、今何を勉強したか、卒業から半世紀もたちますので、思い出す事は出来ません。ただ私は部活で、陸上競技部に入つて居りましたので、競技の記憶は多少あります。当時の校内マラソンは、金目折返しコースで、三年になって優勝した事を覚えて居ります。秦野同窓会の事は、広陵を見るだけで、何もわかりませんでした。役員の皆様には、大変申し訳なく思っております。



南足柄支部

鈴木 正 (中20回)

ただ、今でも競技部後輩の応援のため、丹沢湖で、行われる駅伝大会には行つて居ります。伊勢原支部も、私はあまり横のつながりがなく、こういう部活の、つながりを大事にして、世代を超えた仲間をもつとふやして、支部の事、同窓会全体の事を知っていきたいと、思う次第です。

五月晴れに恵まれた、25日同窓会南足柄支部の総会が開催され、各種報告、承認の後恒例になった講演会が開催され、今年は、中18回卒、端山昭夫先生(元茅ヶ崎市立鶴が台中学校校長)の「山と人生」と題して講演を聞くことができました。先生は秦野市羽根のお生れで、小さい頃から丹沢に登り、小学五年生の時に

は二年上の兄と三日がかりで家から徒歩で富士山に登った時の経験から始まり、定年退職をする頃には、山という山には登り、日本百名山を踏破する登山家の一人になっておられました。素朴で飾らない人柄から、淡々と語る言葉の中に、山への親しみがしみじみと伝わってくる楽しい一時でした。長い経験の中から、

登山の心得は、自然保護の必要性、人が歩けば必ず自然は荒れる、登山のルールの重要性を知る事ができました。先生が行く先々で描いた植物画は数百枚にも達し、繊細で忠実な描き上がりは、見る者をして、山へ引き寄せる楽しい一時でした。

藤沢・茅ヶ崎支部

金子 尚(中12回)

二十五周年記念大会を挙行

された秦野支部の皆様にご心からお慶びを申し上げます。永い間の支部会員のご協力とご盡力の結果と存じます。それに引き換え、当支部は学区外とは申せ記念行事に関わる集会の他は地域環境のため相互のコミュニケーションも図らず活動も停滞しておるのが現状です。

幸いのことには昨年度30号広陵に掲載ご紹介しました、内堀昌治氏(高3回)に支部長の内諾をうけ、私の希望も叶い、これを機に支部運営にも明かりが燈されて支部活動の活性化が計れる事と願っております。当支部には鎌倉・横須賀・三浦・逗子の各市も含まれて非常に広域で、しかも住居地域のために会員相互の交流と出会いのチャンスも恵まれておりません。そこで級友同士のヨコの情報を是非私共にて提供下されれば、それ

を基に世代がタテ型に整理することでこの支部会員の親睦と勿論当支部の円滑な運営につながるものと存じます。支部会員皆様の御健勝とご清栄を祈念致します。

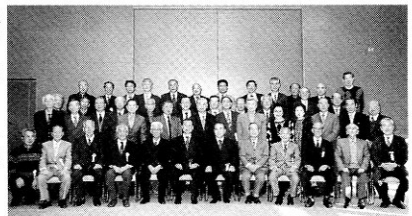
秦野支部

梅原福司(中12回)

秦野支部結成二十五周年記念祝賀会の開催

温故知新の精神の具体化を目指して、数回の実行委員会協議に基づき、平成十四年三月九日、秦野市商工会議所で来賓として井上隆之校長先生、母校吹奏楽部の御協力と同窓生八十数名の参加を得て盛大に二十五周年記念祝賀会を開催いたしました。

式典では支部結成以来の功労者へ感謝状 第一、第二回卒業生へ長寿をたたえての祝詞の贈呈と井上校長先生から



秦野支部結成25周年記念祝賀会の開催

祝辞を頂きました。

在校生六十一名の演奏は、田中先生の指導により五曲。記念祝賀会にふさわしく素晴らしい演奏でした。全員での校歌の歌唱は吹奏楽部の伴奏で広い会場に力強く響き合いました。

懇親会では、受賞者から創立当初の文武両道、質実剛健、師第一の学校生活のお話しを聞き、秦野高校の良さを再認識いたしました。なお事業の一環として支部

会員七千八百余名の名簿が、小泉広澄先生の御尽力により作成されました。

今後、支部会員名簿の活用により支部役員(一八四名)の補充、地区連絡網を通しての「広陵」配布の効率化等支部活動のなお一層の充実化が期待されます。

小田原支部

柳田敏雄(中12回)

私事で恐縮ですが、本年二月以降五月はじめて五回にわたる手術、現在リハビリを兼ね通院と自宅で訓練しております。地元の秦野、伊勢原支部のように活動報告が出来ないのが残念ですが、来年は総会が当支部で開かれます。これを契機に新たな活動を打聞きたいと考えています。

懇親会では、受賞者から創立当初の文武両道、質実剛健、師第一の学校生活のお話しを聞き、秦野高校の良さを再認識いたしました。なお事業の一環として支部

秦中・秦高在職中の想い出

遠い昔の

小さな想い出

門井 稔(英)

昭和43年から8年間お世話になった。当時の秦高像は、同時期に在職の先生方により、十分に語りつくされた感があり、私はごく個人的な想い出を誌すにとどめる。

県下唯一の男子校、パンカラな気風といった印象は私にはない。前任高がほとんど男子だけの厚木高であったし、私自身も旧制中学最後の出身だったから。

むしろ秦高生の大部分は、温和で素直、ややのんびりした諸君だったという印象が強い。

ある年の一学期、私は突然

軽い顔面神経麻痺を患い、英語の発音に不可欠で頻出度の高い p・b・t・k と云った破裂音の発声が可能、やむを得ず、プリントと板書のみによる、いわばサイレント・

ティーチングをする羽目になり、生徒諸君に大変ご迷惑をおかけした。しかし生徒諸君は、私を嘲笑するどころか、

平常より静粛に、授業を受けてくれた。パンカラどころか、人の痛みを知る優しい心を十分に持つ諸君であったといまだに感謝の念を共に思い出す。

もう一つの想い出は修学旅行中の樁事。ある年の九月初旬、二年四クラス宛の二班に

わかれ、北海道は網走原生花園見学に至った。花園入口は、

国鉄の劔網本線の線路を横切

る。傍に木製のプラットホームあり。当時本州で見られぬSLが見られるとかで、生徒も先生もカメラを構えて待つ。やがてSLの汽笛、急停車と云った感じの止まり方。

実は原生花園駅への停車は8月末で終っていたのだ。我々は列車の運行を妨害した結果になり、私が責任者という事で機関士に始末書(?)を取られて、意気消沈。結果は何のお咎めもなく、修学旅行は無事終った。あの時の花園のハマナスの赤い花と、網走刑務所が今でも、思い出される。

昭和50年4月に秦野高校へ転勤となりました。以来13年間の勤務となり校内一万米競走大会や生徒会が中心となつて運営するようになった運動会、毎年、全国大会に出場した陸上競技部など多くの思い出があります。

しかしながら、これまで多くの方が学校行事などの出来事を記事にされておりますので、視点を変えて教職員の思い出の一つである秦野市駅伝競走大会に参加したことを書くことにします。

たまたま、走ることが好きな教員が数人集まり、校内部対抗駅伝に参加することが発端で、これまで駅伝など走つたことのない先生たちの参加を得て、放課後に練習を始めました。練習の距離は、初め3kmから、その後距離を伸ばし多いときには15kmを超える距離を走つた記憶があります。

部対抗駅伝では生徒と互角に競走し、それがこうじて、当時の角田袈裟彦教頭先生を選手兼監督にし、秦野市駅伝競走大会に「秦高教員」チームを編成して参加するようになりました。多い年は2チームで参加、はたまたま職域の部で優勝してしまいました。その折、当時の秦野市教育長が「先生が率先して駅伝を走ることは生徒にとって何よりの励みだ」と絶賛してくれました。それ以後、秦野市駅伝競走大会には市内の小・中学校からも教員チームが多数出場するようになり、秦野市のスポーツ活動の推進にも貢献しているように思えます。

このメンバーの中には、以後、フルマラソンを何度も完走した人や、ジョギングを生涯のスポーツとして親しむ人もいますと聞きます。この時代の先生たちの気質は、駅伝大

秦野市駅伝競走大会へ参加

石原春男(保健体育)

会場など発案者の意欲を大
切にして協力・支援を惜しま
なかつたように思います。こ
うした先生方に巡り会えた
「出会い」は、今となると人
生の宝です。

「秦高く、

ファイト」

平野守孝(英)

同窓生のみなさんにおかれ
ましてはご健勝で活躍されて
いることと拝察いたします。

この三月に無事退職し、第
二の人生を模索しているところ
です。秦高には昭和五十六
年から平成九年まで十六年間
もお世話になりました。大矢
校長、二見校長、相田校長、
山本校長、河合校長、実方校
長のもとで仕事をさせていた
だきましたが、その間、創立
六十周年並びに創立七周年
と二度も大きな節目の記念行
事を体験し、秦野高校の伝統

の重みを実感しました。

赴任当初は、古き良き時代

を思わせる質実剛健の名残が

あり、生徒諸君も先生方もあ

まり小さな事には拘らず、お

おらかな気持ちで学校生活を

送っていたように思います。

女子が半数を超えるほどに

なつてからは男子が多少おと

なしくなつたような気がしま

すが、体育祭や文化祭、マラ

ソン大会ではさすがに男の意

地を見せてくれました。

男子軟庭部の顧問として、

夕方遅くまで汗を流した日々

の練習、寝食を共にした合宿

等懐かしく思い出されます。

特に、合宿での早朝ランニン

グの際澄み切つた空気を切り

裂くような「秦高く、ファイ

ト、ファイト……」のかけ声

が今でも耳に残っています。

関東大会個人戦出場、四十度

近い炎天下で行われた三重県
でのインターハイ個人戦出場

と、生徒諸君の努力のおかげ
で忘れ得ぬ貴重な体験をさせ
てもらいました。

高校改革、学区再編成等大

きな波が打ち寄せてきていま

す。進学校としての地域の期

待や要望がさらに増大するの

ではないかと考えられます。

文武両道理想の高校づくりを

目指して、是非同窓生諸君か

らも在校生に温かい励ましの

言葉を送っていただきたいと

思います。秦高のますますの

躍進を祈念しております。

心こそ

大切なれ

菅野喜則(技能)

ちょうど17年前の5月、緑

に恵まれた秦野高校に赴任し

ました。ここで働ける喜びを

感じ、正門前で一礼をして気

合いを入れてから臨んだのが

昨日のことのようです。

秦高の歴史を物語るように

グラウンドと校舎の間にそび
え立つ銀杏とプラタナスの木
は、秋になると銀杏の実が落

ち、プラタナスの葉が落葉の

ジュータンとなり、朝や放課

後運動部の生徒と一緒によく

掃いたものでした。一番寒い

時期に伝統のマラソン大会が

あり、オートバイで後走を担

当していた私は、励ましながら

最後尾の生徒と一緒に走つた

ことも懐かしい思い出です。

また、駐車場でボール打ち

をしていた生徒を再三注意し

たにもかかわらず無視したの

で正座させたことに、体育の

K先生に仲裁をしていただきたい

たこともありました。K先生

に感謝するとともに、その時

の生徒ゴメンナサイ。

秦高も地域の環境とともに

一番手入れのしづらかつたグ

ラウンド西側も見事変身しま

した。また、秦高生は引込思

案なのか、こちらが挨拶をし
てもなかなか挨拶が返つてこ
ないので大変残念に思い、毎
日毎日あきらめず、接するひ
とりひとりに言葉をかけてい
きました。そして根気よく腹

の底から声をかけていくと、

最初は恥かしそうに顔を向け

ずに、そしてだんだん私が気

づかず背を向けていても生徒

達の方から気持ちよい挨拶が

あちこちから飛んでくるよう

になりました。目を合わせて

きちんとみんなが挨拶できる

ようになってくれました。こ

の喜びが秦高で過ごした十二

星霜の一番の思い出かもしれ

ません。人間はやはり「心」

です。伝統ある秦高も21世紀

を迎え、皆様の「桜梅桃李」

のさらなる活躍を心から期

待するものです。



広畑が丘 空晴れて 秦中・秦高に想う

中14回生と 取り巻く社会

西山 勲(中14回)

旧制中14回生は、昭和十二年四月(一九三七)日中戦争の年に入學、日米開戦直後(一九四二)の卒業でした。同期生八〇名、現在78歳にて

の生存46名です。(戦死者4名を含む34名世界)

高齢化社会の恩恵でしょうか。不便な広畑ヶ丘への通学が鍛錬になったお陰と感謝しています。入学時の中谷校長、卒業時の浅井校長、古屋、露木両先生のご健在は嬉しい限りです。

在学中前後の社会状況は、戦時的事件や不況原因の今日とよく似た激動の時代でした。特に国家総動員法(一、九三六)(有事法案の原型)による軍事教練の強化があり、日米開戦時の連戦連勝の大本営発表に国民は酔いました。

敗色濃厚になった頃、吾にも戦場に駆り出されましたが生き残られました。敗戦によるむごさとみじめさを体験した国民は第九条の不戦の誓いをいたしました。

戦争の出来る国への動きは座視出来ませんので批判覚悟

で申します。即ち、備えあれば“過去の思考。日本の生存条件は平和構造の中のものあり、核戦争は地球人類の破滅をもたらす大愚を犯す。今日の政官財の道理の欠落、腐り紊れきつた亡国の社会こそ、最大の有事。

電車通学から…

清田幸宏(高4回)

昭和二十一年と言えば、戦後の混乱期でしかも食糧難。

そんな時代に私は秦中に入學した。その頃、平塚方面からの通学生は、主にバスと自転車を利用していた。バスは、木炭バスで定員も多くな、すぐに満員になった。また、自転車通学も経験したが、特に欠の上の坂道を一気に下るスリルは何とも言えなかった。反面、雨の日はつらかった。

さて、入学後一年を過ぎた頃、同期生数人が話し合っ

バスから電車通学に変更した。平塚駅から小田原経由で小田急に乗り換え、大根駅で下車、田舎道を歩いて学校までと、自宅から片道二時間もかかった。朝も早く、今ではちょっと想像もつかない通学方法だが、それなりに楽しさもあり、高校生になるまで続いた。

電車通学に変えた理由として、当時、バスより電車の方が通学定期が安かったことが挙げられるが、他に好奇心もあつたためと思われる。

クラブ活動にも興味を持たず、戦後の単調な学校生活に何か刺激を求めたかつた多感な少年時代のはげ口が、電車通学という形になって表れたのではなからうか、と今では懐かしく思い出される。

長髪解禁スト

井口國雄(高14回)

錚々たる顔触れに混じって

場違いな感じもしないではないが、役員の方に頼まれれば嫌とも言えず、ただ思いつくままに。

私たちが入学した昭和34年という年は、皇太子殿下(現在の今上陛下)が御結婚された年で、入学早々四月十日が臨時休校になったなどと言うことを割鮮明に覚えている。そのほか一体どんな事があつたのかと言えば、さて。

私たちの少し前は所謂60年安保の世代であり、少しあとには戦後ベビーブームの結果としての受験戦争世代である。私たちはこの二つの大波の谷間の比較的穏やかなのんびりした時代であつたと思う。だから在校時代のできごとを思い返してみても、いまひとつほんやりしていて歯痒い。

そうだ、三年の三学期に、長髪解禁を求めて講堂で座り込みストをやつたのだった。

今思えばバカみたいな話だが
当時は結構本気であった。

その成果かどうか、その後
なしくずし的に長髪が許され
るようになった。今の生徒さ
ん感謝しなさい。君たちが髪
を伸ばしていられるのも、先
輩たちが懲罰覚悟でストライ
キを打った成果なのですよ。

「マラソン」 これ我が人生

岩崎能久（高24回）

私が秦高を卒業したのは、
ちょうど30年前の昭和47年で
す。

記憶が薄れる中でも、今で
もはつきり覚えているのは例
年秋に行われる1万メートル
競走です。これは、私にとっ
ては、マラソンそのものであ
り、耐え難い苦痛そのもので
ありました。2年生にもなる
と、進学の内申にその成績が
反映されるとあって、進学を

目指す生徒にとっては軽んじ
ることはできず、皆必死だっ
たと思います。私にとつても

『たかがマラソン、されどマ
ラソン』の心境で、上位完走
者に贈られる湯飲み茶碗など
どうでもよく、途中棄権を何
度も踏みとどまりながらも、
『なんでこんなものを、希望
者だけやればいいじゃん』と
その度に苦々しく思ったこと
を覚えています。

でも、今となつては、よき
思い出で、「人生万事塞翁が
馬」ではないが、その時に
培った完走するつらさ、辛抱
はこれまでの私の人生の一助
になつているといつても過言
ではありません。

いまでも私の記憶の中に鮮
明に残っている思い出の一つ
であります。

野球生活

小室勝彦（高34回）

秦野高校を卒業し20年が過
ぎました。高校生活は、野球
生活でした。憧れの野球部に

入りまず感じたのは、縦の絶
対の世界です。2年生から挨
拶の仕方、言葉使い、道具の
管理、グラウンドでのすべて

の事、昼休みの過ごし方まで
徹底的にたたみ込まれます。
その教え方は半端では無く
見本を交え全員が出来るまで
行われました。連帯なのです。

個人の行動、考え方をしっか
りさせ、どの学年も互いに意
識を持たせるのです。連帯責
任もあり、部への忠誠は凄
いものでした。

一人の部員が一人前になる
まで面倒を見てくれました。
自分が2年生になった時、
一年生に同じ事をしました。
これが秦高野球部の伝統だと
思いました。

グラウンドでは、学年関係
無く同じメニューで、力のあ

る者がレギュラーになれまし
た。

高い空の下で、いったいど
れ位の白球を打ち、取り、投
げたのだろうか？あのグラウン
ドをどれだけ走つたのだろ
う？

3年間で野球を習得できた
のだろうか？思い出すと懐か
しい。技術は途中だったが精
神はしつかり受け継ぎ、今の
自分の心の支えになつていま
す。

秦野高校の文化

藤野加住美（高44回）

ひところ高校生達の間で、
ルーズソックスが非常に流行
りました。それを身に付けた

生徒の胸に秦野高校のバッジ
を見た時は正直がっかりしま
したが、私は、彼女等が内に
秘めるエネルギーに期待せず
にはいられませんでした。

十代という多感な時、振り

返れば我が高校時代も諸先輩
方から見れば見るに忍びない
ものだったのかもしれない。

しかし不思議だったのは、そ
れまで自由を満喫していた生
徒達が、時期が迫ると一丸と
なつて目的に向かって邁進す
ることでした。体育祭に部活
動に受験に、各々が完全燃焼
してみせるその姿は感動的で
した。

楽しむ時を楽しみ、力を尽
くす時は全力を傾注する、そ
んなめりほりのある生き方を
秦高生活は教えてくれた様な
気がします。そしてそれこそ
が、ルーズソックスの彼女等
にも息づく秦高独自の文化な
のだと思つています。

人生には、それぞれに廻つ
てくるチャンスがあります。
もしかしたら、そのチャンスを
生きたものにするのは、
「やる時はやる」秦高生の得
意技かもしれません。

男子ソフトテニス部

顧問 黒川健一

秦野高校男子ソフトテニス部の近況をお知らせいたします。現在、部員は3年生5名、2年生6名、1年生5名、計16名で活動しています。

日頃は、硬式の男女・ソフトの男女の4つの部が4面しかないコートをやくりくりしながら使っていますので、なかなか思うような練習ができませんが、早朝練習をしたり、校外のコートを借りたり、練習内容を工夫したりしながら、がんばっています。

こんにちは

平成13年度は、関東大会県予選会団体戦に3年生を中心とした

チームで挑みベスト8入りも果たし、県新人戦の団体戦でもベスト8入りを果たしました。

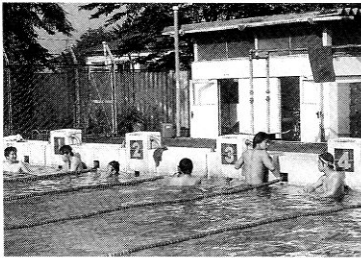
団体戦で良い結果を残せたのは、部員全員が一丸となつて、互いに励まし合いながら、日頃の練習をコツコツと積み重ねてきた成果だと思えます。突出した名プレイヤー・天才プレイヤーはいませんが、部員一人一人が少しずつだがレベルアップし、それが団体戦という集まりの中で十分に発揮できたおかげだと思えます。今年度も関東大会県予選会団体戦でベスト8入りを果たしました。全員テニスとでも言う姿勢が根付き

つつあるようです。これからも、もう一歩上を目指して、全員テニスでがんばって行きたいと思ひますので、温かいご声援をよろしくお願いいたします。

秦野高校水泳部活動報告

顧問 河野忠磨

現在、水泳部員の人数は、三年生13名、二年生4名、一年生8名ですが、受験に備えて勉強に専念する為に、毎年夏の大会を最後に大部分の二年生が引退するのが常となつ



ています。昨年は、二年生を中心に北相大会で初の男子総合優勝を果たしました。また、県高校総体兼関東予選会では、現三年の大竹陽恵がバタフライ100mで4位、200mで優勝。二年連続の関東・インターハイ出場の大快挙を成し遂げました。現二年の及川直樹も100mと200mの自由形で2位と8位に入賞し、関東大会に出場し、団体の神奈川県代表にもなりました。男子400mメドレーリレーでは、公立高校最高の成績で、あと

一つ順位が上がれば関東大会出場というところまで行きました。昨シーズン、部員達が受け取った賞状は総数で五十枚近くになり、清書してください。土屋教頭にはうれしいご苦勞をおかけしました。さて、今年は昨年以上の成績を望むのは酷だと思ひますが、部員達は5月から朝夕の練習を精力的にこなしています。大竹は昨年の反省に立って照準をインターハイに合わせて、及川と昨年県高校入賞の細川和也の二人は、関東にねらいを定めています。そして、部としては、部長の土橋昌幸を中心に、北相大会優勝を目標に練習に励んでいます。

一つ順位が上がれば関東大会出場というところまで行きました。昨シーズン、部員達が受け取った賞状は総数で五十枚近くになり、清書してください。土屋教頭にはうれしいご苦勞をおかけしました。さて、今年は昨年以上の成績を望むのは酷だと思ひますが、部員達は5月から朝夕の練習を精力的にこなしています。大竹は昨年の反省に立って照準をインターハイに合わせて、及川と昨年県高校入賞の細川和也の二人は、関東にねらいを定めています。そして、部としては、部長の土橋昌幸を中心に、北相大会優勝を目標に練習に励んでいます。

母校から

三たびの全国大会を目指して

かるた部 後藤 肇

秦野高校かるた部の近況をお知らせいたします。現在3年生2名、2年生5名、1年生2名、計9名で活動しています。人数は多くありませんが、競技かるたのルール上、男女の区別がありませんので、個人戦はいうまでもなく、団体戦の参加も今のところ支障ありません。練習は主に放課後、作法室で行っています。元クイーンで、現在もご活躍中の今村美智子さんをはじめとして、OBの方々にもご指導頂いています。作法室は9名という人数からすればやや手狭で、もっと部員が欲しいのですが、部員が増えると練習場所に困

る、というジレンマに陥っています。さて、同窓会の皆様方の中には、既に御存知の方もいらっしゃると思いますが、我がかるた部は、平成12年度に2度目の全国大会出場を果たしました。予選リーグ1勝1負で、ブロック2位、決勝トーナメント進出は逃しましたが、全体ではベスト16相当の結果を残すことができました。

現在、総合的な力はやや下がってきていますが、かるた部の良い雰囲気大切にしながら、また全国大会出場を目指して頑張りたいと思っております。

関係の皆様、今後とも温かいご支援をお願いいたします。

平成13年度 部活動大会結果報告

部活動名	大会名	結果	部活動名	大会名	結果
男子ソフトテニス部	全国高校総体県予選会 県高校新人大会	ベスト8 ベスト8			
女子ソフトテニス部	県高校新人大会	ベスト8			
陸上競技	県高校総体	佐藤宏美 女子3000m 8位 栗原雅史 男子やり投げ 4位 関東大会出場 石井千賀子 女子400m 8位	水泳部	県高校総体	大竹陽恵 女子100mバタフライ 4位 関東大会出場 及川直樹 男子200mバタフライ 1位 関東大会出場 及川直樹 男子100m自由形 2位 関東大会出場 男子200m自由形 8位 関東大会出場
	県陸上選手権大会	臼井勇介 男子3000m 1位 山田貴文 男子3000m 2位 大藤佐和子 女子5000m 7位		関東高校総体	大竹陽恵 女子200mバタフライ 6位 全国大会出場
	関東高校陸上大会	栗原雅史 男子やり投げ 7位		全国高校総体	大竹陽恵 女子200mバタフライ 15位
	県高等学校新人陸上競技大会	臼井勇介 男子3000m 3位 瀬戸竜介 男子3000m 7位 栗原雅史 男子やり投げ 2位 関東大会出場 石井千賀子 女子400m 4位		県高校選手権大会	細川和也 男子200m背泳 6位 及川直樹 男子100m自由形 6位 男子200m自由形 8位 大竹陽恵 女子200mバタフライ 7位
	関東新人選抜陸上競技大会	栗原雅史 男子やり投げ 8位		国民体育大会	及川直樹 少年B400mリレー 7位
	県高校駅伝大会	男子 5位 関東大会出場 女子 8位		山岳部	第45回関東高等学校登山大会 参加
	関東高校駅伝大会	男子 25位		弓道部	県高校新人大会 女子団体 5位 高橋奈緒子 女子個人 6位
				柔道部	県高校総体全国予選 女子ベスト8 加藤あゆみ 女子個人ベスト8
				男子バスケボール部	県高校新人大会 4位
				かるた部	第8回関東地区高等学校小倉百人一首かるた大会 福岡怜奈 田中俊裕 神奈川選抜として参加

寸描 母校 2001年度

進学カルテ

進路指導部 高橋真次

— 法学部、薬科・看護医療系が増 —

二〇〇一年度卒業生四〇〇名の進路状況を報告致します。

四年制大学進学者256名(64%)、短期大学進学者21名(5.3%)、専修・各種学校進学者22名(5.5%)、就職者0名、進学準備等(浪人等)101名(25.3%)以上が二〇〇一年度卒業生の進路内訳です。

短期大学への進学者が年々減る方向にあること、法科大学院(ロースクール)構想や司法試験合格者増加への動きなどが影響し、法学部への受験者が増えたこと、女子を中心に薬学、看護医療系への進学希望者が増えたこと等が特徴的な点としてあげられます。浪人した生徒の多くは、自分の希望する大学にもう一度挑戦してみようという積極的な意志によるものであり、来年の朗報を楽しみに待ちたいと思います。

具体的な大学、短大への合

格状況は左表をご覧ください。

朝、登校(出勤)しますと、グラウンドの方から生徒の大きな掛け声が聞こえてきます。校舎内からは楽器の音が聞こえてきます。野球部、サッカー部、ハンドボール部、陸上競技部、吹奏楽部など多くの部が始業前の朝練習をしているのです。一つの学校だけではチームができず、いくつかの学校が合同してチームを作り、大会に参加する、こういうケースが増えている中、現3年生の65%の者が部活動に参加しているという学校は、県下でもそれほど多くはないのではないのでしょうか。この春の大会では、既に、陸上競技部、バスケットボール部、ソフトテニス部が関東大会出場を決めています。

部活動をやっている者の皆が皆勉強との両立がうまくいっているわけではありません

ん。朝練のために早起きして、一時間目の授業から寝ている生徒がいるのも事実です。しかし、そうした彼らも、それぞれの大会を終え、勉強一本の生活に入ると、部活動を通して培ってきた、粘り、頑張り、集中力をもって真剣に勉強に取り組みむようになります。そして卒業式を迎えるまでには、それぞれの進路希望を叶え、秦高を巣立って行きます。今年度より学校週五日制が

完全実施となりました。本校も、生徒の進路保障という観点から、授業時間数を確保すため、二学期制という新しい体制を取り、二〇〇二年度をスタートしました。今まで以上に秦野高校の伝統である「文武両道」の校風を保持しながら、生徒の希望する進路選択が可能となるよう務めています。参りたいと思っております。変わらぬご支援をお願い致します。

2001年度卒業生の進路状況

	文系		理系		学年全体	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
4年制大学	42	95	85	34	127	129
短期大学	0	19	0	2	0	21
専修学校 各種学校	2	14	3	3	5	17
就職	0	0	0	0	0	0
進学準備	21	16	55	9	76	25
卒業生徒数	65	144	143	48	208	192

2001年度 主な大学・短大合格者延べ数

大学名		現	浪	大学名		現	浪	大学名		現	浪	
国公立大学(4年)												
茨城	馬場	大		上	智	5	3	法	政	大	26	2
群	賀	大	1	湘	工	1		星	薬	科	3	
佐	葉	大	1	南	学	1		北	海	道		1
千	通	大	2	尚	和	5		武	蔵	工	3	
電	京	大	3	昭	音	2	2	武	蔵	業	11	
東	信	大	1	昭	女	3		武	蔵	野	1	
東	工	大	1	昭	子	2		武	蔵	野		1
東	業	大	2	女	医	1		明	治	学	33	7
東	農	大	1	女	鹿	1		明	治	院	21	5
東	業	大	3	鈴	鹿	1		明	治	科	1	2
東	工	大	1	鹿	鹿	1		明	治	星	1	1
東	業	大	1	鹿	鹿	1		明	治	星	2	
東	業	大	1	鹿	鹿	6	2	も	の	つ	1	
東	業	大	1	鹿	鹿	6	3	立	立	立	13	4
東	業	大	1	鹿	鹿	22		立	立	立	2	1
東	業	大	1	鹿	鹿	3		立	立	立	4	1
東	業	大	1	鹿	鹿	1		立	立	立	1	1
東	業	大	2	鹿	鹿	2		立	立	立	1	
東	業	大	1	鹿	鹿	10		立	立	立	1	1
東	業	大	1	鹿	鹿	35	7	立	立	立	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	1		立	立	立	11	10
東	業	大	1	鹿	鹿	1		短期大学				
東	業	大	1	鹿	鹿	9	1	神	奈	立	1	
東	業	大	1	鹿	鹿	2		筑	波	大	1	
東	業	大	1	鹿	鹿	1		横	浜	市	1	
東	業	大	1	鹿	鹿	1		青	山	学	4	
東	業	大	22	鹿	鹿	1	12	和	美	短	1	
東	業	大	1	鹿	鹿	3		小	田	原	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		鎌	倉	女	2	
東	業	大	5	鹿	鹿	5	1	京	都	医	1	
東	業	大	6	鹿	鹿	6		駒	澤	短	2	
東	業	大	1	鹿	鹿	1		駒	沢	女	1	
東	業	大	1	鹿	鹿	1		相	模	女	1	
東	業	大	1	鹿	鹿	1		産	能	短	1	
東	業	大	1	鹿	鹿	1	3	実	践	女	1	
東	業	大	4	鹿	鹿	4	6	淑	徳	短	1	
東	業	大	15	鹿	鹿	15		上	智	短	2	1
東	業	大	1	鹿	鹿	1		湘	北	短	2	
東	業	大	5	鹿	鹿	5	1	昭	和	音	1	1
東	業	大	15	鹿	鹿	15	3	昭	和	女	1	
東	業	大	1	鹿	鹿	1		成	城	大	3	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		聖	セ	シ	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3	2	洗	足	学	2	
東	業	大	9	鹿	鹿	9		玉	川	学	2	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		東	海	大	2	
東	業	大	1	鹿	鹿	1		東	京	大	2	
東	業	大	4	鹿	鹿	4		東	京	大	1	
東	業	大	29	鹿	鹿	29	8	東	京	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		東	京	大	1	
東	業	大	1	鹿	鹿	1		東	京	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3	1	日	本	大	2	
東	業	大	1	鹿	鹿	1		日	本	大	1	
東	業	大	1	鹿	鹿	1		日	本	大	6	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	1	鹿	鹿	1		日	本	大	1	
東	業	大	4	鹿	鹿	4		日	本	大	2	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	1	鹿	鹿	1		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	4	鹿	鹿	4		日	本	大	1	
東	業	大	5	鹿	鹿	5		日	本	大	1	
東	業	大	1	鹿	鹿	1		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	1	鹿	鹿	1		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	4	鹿	鹿	4		日	本	大	1	
東	業	大	1	鹿	鹿	1		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	4	鹿	鹿	4		日	本	大	1	
東	業	大	1	鹿	鹿	1		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	4	鹿	鹿	4		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	4	鹿	鹿	4		日	本	大	1	
東	業	大	1	鹿	鹿	1		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	4	鹿	鹿	4		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	4	鹿	鹿	4		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	4	鹿	鹿	4		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	4	鹿	鹿	4		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	4	鹿	鹿	4		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	4	鹿	鹿	4		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	4	鹿	鹿	4		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	4	鹿	鹿	4		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	4	鹿	鹿	4		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	3	鹿	鹿	3		日	本	大	1	
東	業	大	2	鹿	鹿	2		日	本	大	1	
東	業	大	4									

広畑会

須山 孝(高一回)

今年で第二十七回を迎える広畑会は、主として、県内在住の教職関係者で組織され、会員数は三百四十余名に達しています。

本会の設立にご尽力された古屋一男名誉会長(中5回)飯田宜雄会長(中14回)のもとに、四十一名の幹事に支えられて、活動も、ますます光彩を放っています。

聞きおよぶところでは、滄浪閣(大磯町)で会を立ちあげ、魚忠(平塚市)、大川楼(秦野市)、こみや(伊勢原市)等を会場とし、近年は、毎夏、神奈中グランドホテル(秦野市)で開催されております。

会の準備担当は、行政、高校、義務教育のローテーションで

回り、出席の確認をはじめ、当日の会の進行を受持つておられます。母校校長の挨拶では、秦野高校校長からクラブ活動の現状や、卒業生の進路状況等について報告がなされますが、私たちOBにとつては、母校を知るまたとない機会を与えられています。

また、特筆すべきことは、会の性格上、柏木文夫・元小田原市教育長(中12回)、酒井持・元秦野市教育長(中12回)、内藤美彦・秦野市教育長(高4回)、中丸憲一・中教育事務所長(高17回)等多くの俊英が輩出されていることです。

さらに、今年の春の叙勲では、前参議院議員・柳川寛治氏(中16回)が、勲二等瑞宝章を受章されました。これは我が国の国政で、おおいに活躍された証であり、まことに

慶賀の至りです。ご他間にもれず、本会も高齡化が進んでいます。そのためには、若い会員諸氏の参加が不可欠となります。この際ぜひ若い会員諸氏の参加を希求して止みません。

同期会だより

小泉広澄(高17回)

第三回いちなな会開催六十余名が集う

去る6月8日土曜日、我々高校17回卒の同期会である「いちなな会」が神奈中ホテル秦野で開催された。

この会の名称は17回卒業にちなんで事務局長の吉田信男さんから提案され第一回目のときに承認されたものである。5年毎に開かれるこの会は、今回三組、四組の幹事が担当者になり事務局長を中心に昨

年12月に準備会を発足してから半年後開催に至ったものである。

三年の時にそれぞれのクラスの担任だった先生方を毎回お招きしてきたが、今回は、直前に国内旅行後、体調を崩されたため欠席された北郷先生の外は、二組の込山英雄先生、三組の青木裕正先生、四組の中野文夫先生、五組の中山鋭三先生、六組の鈴木公明先生の諸先生方に出席をいただいた。

はじめに会長の挨拶があり卒業後37年目にあつたこの会を催した経過などが報告された。

続いて恩師を代表して鈴木先生より感謝のお言葉とともに、近況が話され、先生の趣味になつている日本全国にある五重の塔めぐりにまつわる楽しいお話を伺った。その後懇親会に入り、恩師

の先生方が次々とお元氣な近況をお話し下さる中で、各テーブルで昔の頃を懐かしみ旧交をあたためあつた。

会が最も盛り上がった頃合を見て司会からクラス毎に各自の近況報告を提案された。ここに集う我々17回生がマイクの前で次々と各地各界で活躍している様子を報告しあつた。結婚相談所を開いている人、プロのダンサーとして六百人程のお弟子さんを抱えて活躍している人などなど。

総じて出席した同期生たちはそれぞれの環境の中で、周囲に信頼され、重責を担つて活躍していることが改めるまでもなく確認された。

最後に、閉会の挨拶に立つた能条剛さんより母校の近況が報告された。同窓生として母校の益々の発展を願い、5年後の再会を約しながら二次会へと散会していった。

稿
昔の思い出寄
茅沼保次(中2回)

昭和五年の卒業ですから、七十年以上も昔のことになりますが、今だに非常につよい印象が残っている思い出があります。

秦野高校の前身である奈珂中学の、そのまた前身の育英学校の一年生だった時は、英語がどの課目よりも一番苦手だった。それが、大正十五年、五年制の奈珂中学になって、その二年生に編入された時、勿論学校全体の雰囲気が一変しました。すると急に英語の勉強が面白くなったのです。英語の先生は三名いられたが、リーダーは鈴木昂先生に教わりました。授業のなかにサー・ウォルター・スコットのアイバンホーが出てきた時、鈴木先生は美しい挿絵のある

原書を持ってきて、皆に見せてくれました。スコットランドの古城や修道院、また長柄のランスを持った中世の騎士の雄姿などを見て、私は外国の文化に対するロマンの夢がかき立てられたのです。

アイバンホーの授業が切っかけとなって、私は英語の勉強が、どの課目よりも一番好きになった。それは年ごとに高ずる一方でした。五年生になった時は、何とかして英語の専門家になって身を立てたいと決心しました。

加藤求周先生にも相談して、東京外国語学校(今の東京外大)を受けることにしました。受験課目は非常に多く、日本史のほか、東洋史、西洋史があり、世界地理もあり、古文、擬古文のほか漢文の試験もあった。しかし何よりも厄介なのは英文解釈、和文英語のほか、ディクテーションの試

験があったことです。当然のことながら、英語関連の成績評価が全課目の半分以上ということでした。受験するからには、それ相当の猛勉強をしたつもりでしたが、第一回目は不合格でした。世間知らずの田舎育ちで、受験の時まで外国人の顔など一度も見たことのないのが、このディク

テーションの試験場で初めて、生粋の英国人が読む英語を聴いたのです。分かるはずがない。一字一句も聴きとれなかった。このヒアリングが最大の致命傷だったことは明白でした。くやしかった。暫くの間は途方にくれ、数週間呆然として日を過しました。

擻土重来を期す決心がついてから、色々工夫をこらしたあと、当時東京高等師範学校(今の筑波大)の英語の教授をしていられた佐藤保胤先生をたずねた。無理矢理に懇請

して、先生のお宅に下宿させて貰って、英語の個人授業を受けさせて貰うことになりました。

英国の政治家の名演説のレコードなどを聴かせて貰ったり、また当時東京高等師範学校の英文科で使っていた教科書などを勉強して、朝から晩まで、文字通り英語漬けの日々を送っていました。

そんな或日のこと、長沢恭治校長先生が突然、佐藤教授のお宅を訪ねて来られた。そして私のような出来の悪い一卒業生のために、「何卒よろしくご指導をお願いします」と頼んで下さったのです。私は内心非常に驚くと同時に心から感動しました。在学中は直接お話を伺うようなことは一度もなかった、雲の上の存在である校長先生の、この時のお姿には終生忘れることのない深い感銘をうけまし

た。

私も後年教壇に立って、大勢の学生の受験指導に当たったこともありましたが、そんな時いつも、あの時の長沢校長先生のお姿を思い出しては、心から感謝と尊敬の念で胸一杯になりました。

表紙スケッチ

「坂道」

横溝英一(中20回)

秦野高校は丘の上にあるので、どちらから来ても坂道がある。特に自転車通学には大変だろう。

坂道を登ることでやっと学舎(まなびや)に行き着けるなんて、どこか象徴的な事ではないか。

もつとも、現在のバス通学にはあまり関係はないけれども。

春の異動

次の先生方が四月の異動で転退職されました。長い間、本校の教育にご尽力くださりありがとうございました。

- 安藤 好定(湯河原)
- 角田 章博(神田)
- 河本 淳(湯河原)
- 榊原 照夫(大井)
- 小金 智子(大井)
- 片岡 世喜(相模田奈)
- 落合 幸男(湯河原)
- 高橋 照夫(厚木南)
- 中2 高橋 春造
- 中5 大館 淳一
- 中6 日吉 寅吉
- 中7 高橋 武男
- 中8 梅田 義雄
- 中16 川瀬 義雄
- 中17 向坂 一雄
- 併1 鳥海 秀郎

物故者

慎んでお悔やみ申し上げます

会員名簿発刊について

平成八年から五年目にあたる昨年七月下旬に名簿が発行されました。収録者は、卒業生、現・旧職員およそ二万一千七百名にのぼり、約七二〇頁、写真も前回より増やし、えんじ色の表紙になっています。予約されなかった会員でお求めの方は、母校事務局へお申し込み下さい。価格は四、五〇〇円(送料共)です。

原稿をお寄せ下さい

同期会・クラス会・職場での同窓会の近況報告などお知

らせ下さい。個人でも結構です。(一〇〇〇字以内) 送付先 〒二五七〇〇〇四

秦野市下大槻一三 秦野高等学校内 同窓会報委員会

会費未納の会員の方へ

—二送金のお願—

ご承知のように、同窓会の

主なる収入源は終身会費です。この制度になってから、九年になります。在校生(四〇〇人、四〇〇万円)は、卒業時に納入する事になっております。この制度発足以前の卒業生は、振込用紙等により、一万円を納入してもらっています。昨年度は一五〇人、一五〇万円でした。

現在同窓会は、五〇〇万円

の規模の予算で運営されていますが、単純に計算して目一杯の運営です。これからの生徒数の減少、制度以前の対

象者の確定数の減少等を考えると、将来先細りが懸念されています。

昨年までの会費納入率は三七%、未納者は約一万名、六三%に当たります。

誠に催促するようで申し訳ありませんが、同封の振込用紙にてご送金下さいませ様お願い申し上げます。

秦野高等学校同窓会

会長 柳川一朗



の文章から「温故知新」を汲み取って頂けたでしょうか。しかし全般的にマンネリ化の傾向にあり、清新な企画を打ち出せないものかと考えています。ご意見等お寄せ下さい。会員の皆様と共に交流誌にするために。(青木)

編集後記

広陵編集作業も、五年目を迎えました。今まで書籍・雑誌等を読んでも、編集者の苦労を感じず見過ごしてしまっていました。今は「編集後記」に先づ目が留まります。今号の中で、茅沼氏(中二回)

秦野高校同窓会

会報委員会

〒2570004 秦野市下大槻二二三番地 県立秦野高等学校内

電話 〇四六三(分)一四三三 振替口座 〇〇二〇一八二三六八九

発行責任者

柳川一朗(高1)

青木利之(高4)

須山 孝(中20)

古部三郎(高7)

榎本圭治(高2)

小泉広澄(高17)

永山孔昭(高6)

大川 要(高17)